

医師住宅消防用設備保守点検業務

1. 対象施設

医師住宅

2. 対象設備

消火器具

3. 一般事項

1) 本仕様書その他、みのおライフプラザ複合施設管理業務委託基本仕様書（以下「基本仕様書」という。）を適用する。

2) 提出書類（原則としてA4版とする）

① 施行中 消防用設備等点検結果報告書（点検完了のつど） 3部
写真（点検完了のつど） 1部

② その他発注者又は施設管理者の指示するもの

4. 設備概要

A B C 1 0 型消火器 6本

5. 業務内容

1) 定期点検

対象設備について、消防法第17条の3の3に基づく定期点検及び結果報告を下記のとおり実施する。

① 機器点検（1回／年）

② 総合点検（機器点検含む）（1回／年）

2) 臨時点検（随時）

対象設備を使用する対象施設の消防訓練時及び故障発生等の場合は、受注者及び統括責任者の指揮命令の下で、速やかに業務担当者を派遣するなどにより、対象設備について点検を実施する。

3) 保守（定期点検・臨時点検のつど）

定期点検及び臨時点検の結果に応じ下記の保守を実施する。

① 汚れ、詰まり、付着等がある部品又は点検部の清掃

② 取り付け不良、作動不良、ずれ等がある場合の調整

③ その他これらに類する軽微な作業

6. 特記事項

1) 保守点検業務は、「消防法」、「同法施行令」、「同法施行規則」及びこれに基づく告示等に定めるところにより実施すること。

- 2) 業務担当者は、消防設備士免状の交付を受けている者または、消防法施行規則第31条の6第5項で定める資格を有する者とし、業務中は免状を携帯すること。
- 3) 点検を行う場合には、あらかじめ施設管理担当者から劣化及び故障状況を聴取し、点検の参考とすること。
- 4) 測定を行う点検は、定められた測定機器又は当該事項専用の測定機器を使用すること。
- 5) 異常を発見した場合は、同様な異常の発生が予想される箇所の点検を行うこと。
- 6) 別途修理を要する箇所を発見したときは、速やかに施設管理担当者に報告するとともに、応急措置により作動不良の範囲を極力縮小すること。また、点検の結果、設備保安上不備と認められる事項については、発注者・受注者協議の上、速やかに処置すること。
- 7) 保守用消耗部品類は発注者負担とする。
- 8) 発注者が設備の全部若しくは、一部の変更、撤去及び修理または設備の機能に影響を及ぼすと思われる工事を必要とするときは、あらかじめ受注者に通知し、発注者・受注者協力して設備の保全にあたる。